

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年4月～2025年6月（第197期第1四半期連結累計期間）

2025年 7月 28日

日本車輛製造株式会社

目次

1. 2026年3月期第 1 四半期累計連結決算の概要
 - (1) 業績の要約
 - (2) セグメント別業績
2. 2026年3月期 連結通期業績見通し

業績の概要（2026年3月期 第1四半期累計期間）

売上：鉄道車両事業及び輸送用機器・鉄構事業の増収により増収

利益：鉄道車両事業及び輸送用機器・鉄構事業の増益により増益

（単位：億円）

	前年同四半期	当第1四半期	増減	前期比
売上高	214	232	+ 18	+ 8.5%
営業利益	2	15	+ 12	+ 467.4%
経常利益	4	17	+ 13	+ 289.6%
（売上高経常利益率）	（2.1%）	（7.6%）	（+ 5.5%）	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5	13	+ 7	+ 147.7%

セグメント別業績（2026年3月期 第1四半期累計期間）

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	前年同 四半期	当第1 四半期	増減	前年同 四半期	当第1 四半期	増減
鉄道車両	108	134	+26	1	9	+7
建設機械	50	39	△11	10	7	△2
輸送用機器・鉄構	45	50	+4	△5	5	+11
エンジニアリング	10	7	△2	△0	△0	+0
その他/調整額	0	0	△0	△2	△6	△3
合計	214	232	+18	2	15	+12

※ 「調整額」は、セグメントに帰属しない一般管理費、セグメント間取引消去などを含んでいる

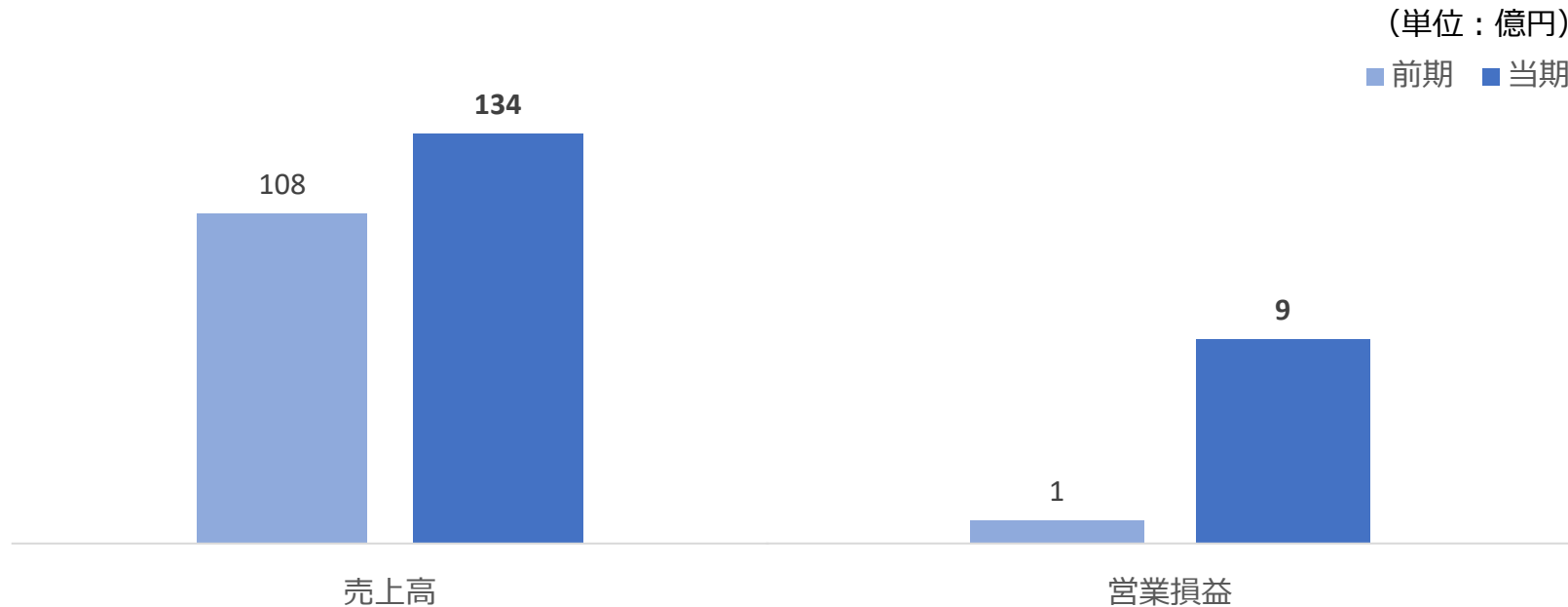
鉄道車両事業

＜売上高＞

- J R東海向けN 7 0 0 S新幹線電車や3 1 5系電車、東京都交通局向け電車、名古屋鉄道向け電車などの売上があり、J R向け車両の売上が増加したことなどにより増収。

＜営業損益＞

- 主に増収により増益。



建設機械事業

<売上高>

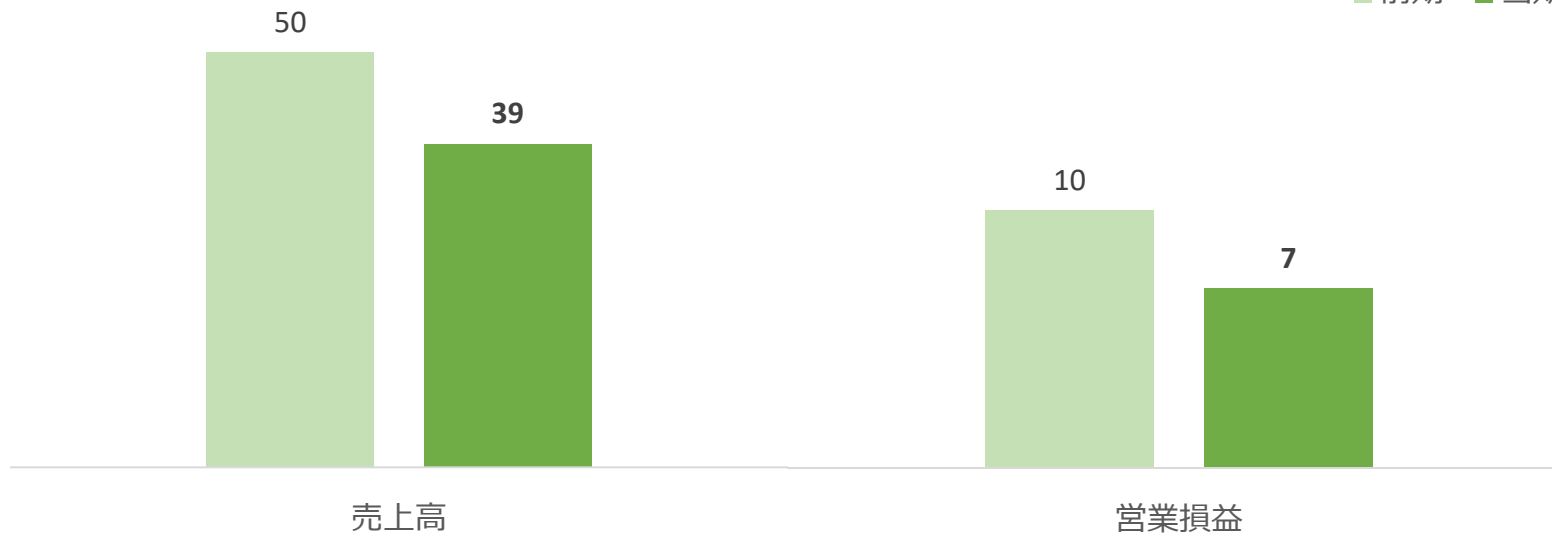
- 大型杭打機、小型杭打機、全回転チュービング装置などの売上有り、大型杭打機の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

- 主に減収により減益。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



輸送用機器・鉄構事業

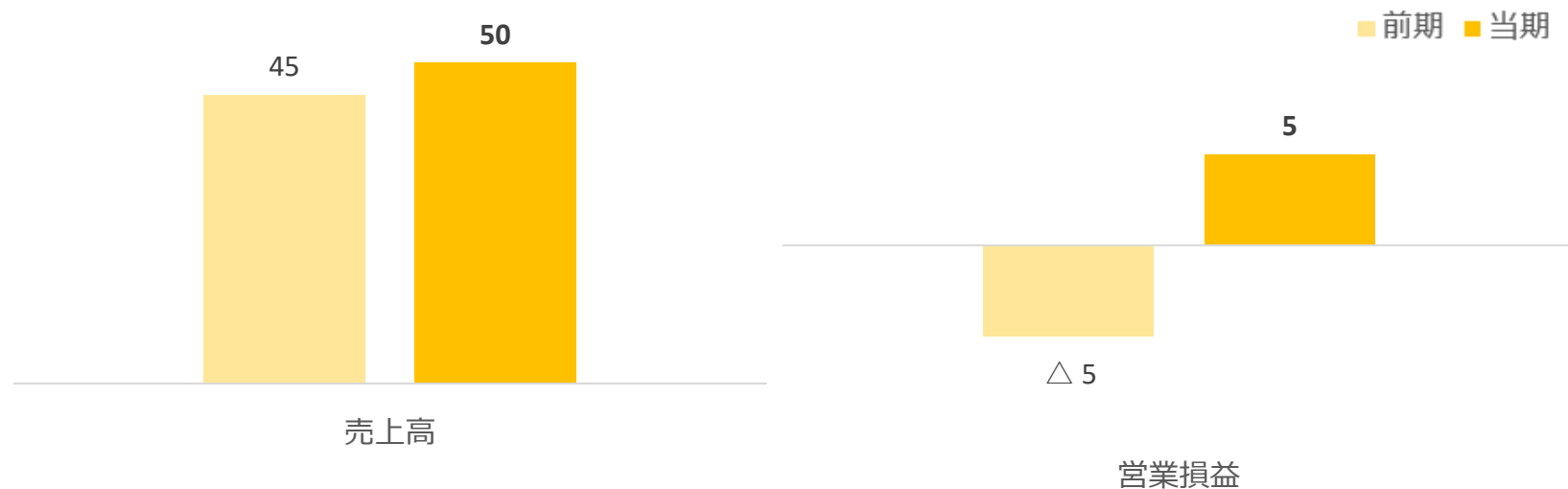
<売上高>

- 輸送用機器は、民生用バルクローリ、大型自走式キャリヤ、無人搬送装置、貨車などの売上があり、大型自走式キャリヤなどの売上が減少。
- 鉄構は、庵原高架橋、飯沼川高架橋、養老 I C 本線橋などの売上があり、道路橋の売上が増加。
- 事業全体では増収。

<営業損益>

- 増収に加えて、前期は鉄構事業の変更契約協議中の一部の案件で原価が先行発生し、一時的に採算が悪化したのが、当期は解消し営業利益が改善して黒字転換。

(単位：億円)



エンジニアリング事業

<売上高>

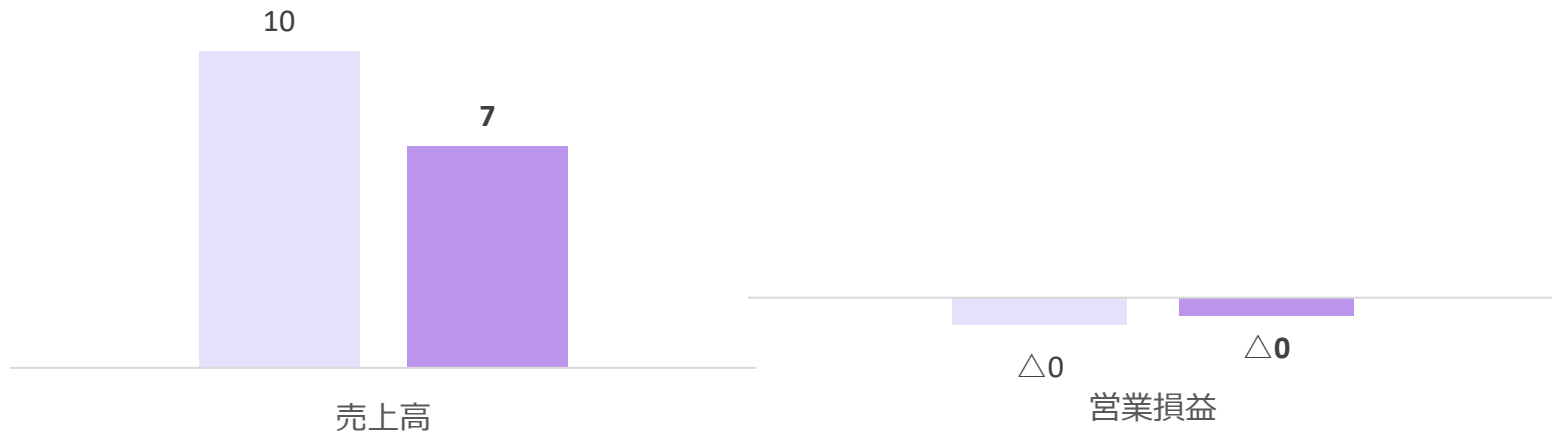
- 鉄道事業者向け機械設備のほか、家庭紙メーカー向け製造設備、各地のＪＡ向け営農プラントなどの売上があり、鉄道事業者向け機械設備の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

- 減収ではあったものの、前期並み。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



2026年3月期 連結通期業績見通し

前回(2025年4月28日付)との比較

売上高：主に建設機械事業や輸送用機器・鉄構事業において想定よりも堅調に推移することから、増加する見通し

利 益：売上高の増加に加え、製品構成の変化などにより全体の利益率が向上することから、増加する見通し

(単位：億円)

科目	2026年3月期 (前回予想)	2026年3月期 (今回予想)	増減	増減率
売上高	930	960	+ 30	+ 3.2%
営業利益	56	66	+ 10	+ 17.9%
経常利益	59	70	+ 11	+ 18.6%
(売上高経常利益率)	(6.3%)	(7.3%)	(+ 1.0%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	66	+ 7	+ 11.9%

日本車両

※本資料の業績見通しに記載されている将来の数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。